

1. 件 名：国立研究開発法人日本原子力研究開発機構大洗研究所の JMTR 原子炉施設に係る廃止措置計画の認可申請に関する事業者ヒアリング（20）
2. 日 時：令和2年11月10日（火）16時00分～17時25分
3. 場 所：原子力規制庁10階南会議室（テレビ会議にて実施）
4. 出席者：
 - （1）原子力規制庁
原子力規制部 研究炉等審査部門
細野企画調査官、田中主任安全審査官、上野管理官補佐、加藤原子力規制専門員、佐々木技術参与
 - （2）国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
材料試験炉部 廃止措置準備室 担当者 他5名
5. 議事要旨
 - （1）原子力機構から、JMTR廃止措置計画について資料に基づき説明があり、原子力規制庁から、以下のとおりコメントを伝えた。
（資料1について）
 - 空気系統用冷却設備の耐震クラスの見直しについて、運転段階から廃止措置段階に移行することで、当該設備の冷却水の供給先が空気圧縮機に限定されることから、廃止措置中に求められる空気圧縮機の安全機能を整理した上で、これに伴う耐震重要度を整理すること。これら一連の説明は、補正に反映すること。
 - 外部からの衝撃による損傷の防止について、建築基準法に基づく風速に対する空気系統用冷却設備の設計方針を明確にすること。
 - 商用電源喪失時の可搬型発電機による給電対応について、地震を起因とする場合の火災に対する実際の初期対応も踏まえ、可搬型発電機による給電対応の優先順位を整理して説明すること。
 - （2）原子力機構から、了解した旨回答があった。
6. 配付資料
 - ・原子力機構からの配付資料
 - 資料1 JMTR原子炉施設に係る廃止措置計画について（面談における確認事項への回答）
 - 資料2 JMTR原子炉施設の廃止措置計画認可申請書の補正にかかる記載の方針について